



予算特別委員会質疑

第1回定例会3月20日の予算特別委員会で質疑を行いましたので、ごく一部ですがご紹介いたします。今年は市長選挙が開催されることから、新年度予算は骨格予算となります。市長公約等に基づく政策予算は第2定例会で補正予算計上されることになるため、当市の課題になると感じる部分について、今後の展望を中心に質疑を行いました。(全体の質疑詳細は議会会議録をご参照ください。)

2 清掃費について (2)塵芥収集運搬業務経費

◆北山委員 町内会の組織率低下や高齢化の著しいエリアにおいては、既に個人のごみ出しも困難になっている世帯が比較的多く見受けられる。このような地域では、ごみ出しが困難な世帯が増加し、さらに、町内会によるごみステーションの管理も、早晚、行き届かなくなることが予想される。私の近隣からも、恵庭市のように戸別回収にしてくれたら助かるという声も最近増えてきている。戸別回収方式は、ステーション方式と比較いたしまして、手間がかかり、コストも増大するというデメリットは承知をしているが、ごみの排出者が明確になることでモラルが改善し、分別率の向上やごみの減量につながるなどがメリットとして上げられている。以前、戸別回収は、経費等の増大を招くことから導入は困難との答弁があったが、その後は検討をされているのか。また、収集方法を現在のステーション方式から戸別に変更した場合、経費的にどれだけ増えるのか。

◎浅井市民環境部長 戸別収集の検討状況と仮に導入した場合の経費の見込みであるが、本市のごみ処理については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物の処理責任を負う市町村が、長期的、総合的視点に立ち、計画的な廃棄物処理の推進を図るための基本方針として、廃棄物の減量及び適正な処理に関する事項を調査審議します千歳市廃棄物減量等推進審議会の審議結果等を踏まえまして、一般廃棄物処理基本計画を策定し、経済的かつ効率的な収集運搬処分を行っている。この一般廃棄物処理基本計画の中では、多くの自治体で採用されている経済性や効率などに優れる拠点収集によるごみの収集を行うこととしている。

ごみの戸別収集につきましては、拠点収集に比べまして、ごみを出す方の利便性の向上や排出者の責任の明確化などのメリットがありますが、一方では、収集効率の低下、収集人員の確保に加えまして、人員及び車両の増加等による経費の増加に伴うごみ処理手数料の上昇、大型車両が通行できない路線での収集方法、積雪によるごみの取り残しなど、様々な課題がありますことから、本市では、引き続き経済性や効率性に優れますステーション方式による拠点収集により、安定したごみの収集に努めてまいりたいと考えております。

また、戸別収集をした場合の経費の見込みだが、本市では、平成18年の家庭ごみの有料化の検討に当たり、収集方式等の調査及び検討を行っており、拠点収集から戸別収集に収集方式を変更した場合、収集距離や時間、人件費などの増加により、塵芥収集運搬業務委託料は2.04倍となる試算結果となっている。

また、近隣市が平成30年度に行った調査においても、戸別収集の収集時間は、夏場で1.3倍、委託料は約2倍になり、財源確保のほか、作業員の負担増や作業員の確保も大きな課題であるとの調査結果となっている。

このことから、現在、本市での戸別収集に係る経費を試算すると、令和6年度からの次期塵芥収集運搬業務

- 1 社会福祉費について
(1) 町内会育成事業費
- 2 清掃費について
(1) 資源回収事業費
(2) 塵芥収集運搬業務経費
- 3 小学校費について
(1) 小学校ICT機器等整備事業費
- 4 中学校費について
(1) 中学校ICT機器等整備事業費
- 5 病院事業会計について
(1) 企業債等

委託料の積算では、年間約4億2,000万円となっていることから、年間で約8億4,000万円以上の経費が必要になるものと見込まれる。

5 病院事業会計について (1)企業債等

◆北山 団塊の世代が全て後期高齢者となる2025年まであと2年と迫っているわけだが、今後、医療ニーズの増大とともに、人、物、金という経営資源の確保、こういったことが大きな課題になってくるものと思われる。今後、病院DXの導入によって、待ち時間の短縮などを図ることも重要だが、先進医療等に対応するため、今後、企業債等を活用した医療機器等のさらなる整備を行っていくような予定があるのか、もしあれば、具体的な内容についてご教示願いたい。

◎島田病院事務局長 医療機器の整備については、現有機器の購入時期や耐用年数に加え、病院事業の収支状況等も勘案して整備計画を策定している。また、各年度の予算計上に当たっては、その時点における医療機器の点検結果、そして稼働状況を確認するとともに、その必要性や費用対効果、他の医療機器との優先度を考慮した上で、最終的な決定をしているところ。先進的な医療機器等の今後の整備見込みだが、現在、市民病院が行っていない先進的な高度医療機器を新たに整備することについては、導入する機器に応じた医師や医療スタッフに加え、機器の設置場所等についても、新たに確保する必要がある。また、近隣の札幌市には、3次医療機関や高い専門性を持った病院が多数あることから、その導入に向けては、当院の2次救急病院としての役割や市内における患者ニーズ等を踏まえながら、慎重に検討する必要があると考えている。今年度導入する磁気共鳴断層撮影装置については、これまでと違い、人工知能、AIを使った高速高画質化のアプリケーションにより、撮影時間を短縮させても高精細な画像を抽出できるとともに、検査音を低下させるなどの機能によって患者の負担も軽減できるなど、最新の機能を有した機械を導入する予定としている。そのような形で、医療機器の選定、そして、高度医療機器の更新等を計画しているところ。

(中略)

◆北山 本日は、都市機能の充足という点に絞っていろいろお尋ねいたしたが、市民からは、医療体制は恵庭市がよいとか、子供の教育環境は北広島がよいとか、様々な御意見も頂戴する。もちろん、ないものねだりをしていけば切りがないわけだが、せっかく大企業が進出して雇用が生まれても、従業員や御家族から住む場所として当市が選ばなければ本末転倒なので、今後、どのようなサービスが求められるのか、言われてから考えるのではなく、先を見越して行政機能の充足に努めていただくようお願いする。

市政や議会に関するあなたの疑問やお困りごとをぜひ北山けいたにお聞かせください。



メール: mail@kitayama-keita.com

ホームページ: <http://kitayama-keita.com>

私、「北山けいた」は、「公正・公平」な社会と、お子様からお年寄りまですべての世代が笑顔で生活できる環境の形成を目指しています。皆さまの市政に対する素朴な疑問をご遠慮なくお寄せください。また、市民参加型の市政運営を目指して、様々な市民活動も積極的に支援しております。

お問い合わせは上記のメールからお願い致します。



ちとせみらい通信は私の想いを届けるかわら版です。